

適用し、入院がある場合は入院費用を加え世帯全体で合計して、世帯合算分の限度額を適用します。

③70歳未満と70歳以上の方が同じ世帯にいる場合は、それぞれ別に計算してから合算し、70歳未満の方の限度額を超えた分を払い戻します。

④月の途中で75歳になる方は、自己負担額が国民健康保険と後期高齢者医療制度でそれぞれ2分の1ずつになります。なお、職場の健康保険から後期高齢者医療制度に移行した方の扶養者だった方が国民健康保険に加入する場合にも、この措置を適用します。

⑤住民税の賦課期日(今年度は平成25年1月1日)の時点で海外に住所を有し、その後三鷹市へ転入した方がいる世帯では、70歳未満の方は「一般」または「上位所得者」世帯、70歳以上の方は「一般」または「現役並み所得者」として限度額を適用します。

※各月1日～月末を1カ月として計算します。

※同じ医療機関でも「歯科」と「医科」、「入院」と「外来」はそれぞれ別々に計算します。※医療費には差額ベッド代・食事代などは含まれません。

④要件に該当する場合、医療を受けてからおおよそ3カ月後に世帯主宛てに送付する申請書に必要事項を記入・押印し、持参または郵送で「〒181-8555保険課」(市役所1階9番窓口)へ

☎同課 ☎内線2387

**海外転出入の際には国民年金の手続きもお忘れなく**

海外への転出や海外からの転入に伴い住民票の届け出をする際は、国民年金の手続きも必要です(厚生年金・共済年金加入者やその被扶養配偶者を除く)。転出の場合は国民年金をやめるか、加入を継続するための在外任意加入(外国人は対象外)の手続きを、転入の場合は加入または在外任意加入から切り替えの手続きをお願いします。

☎三鷹市市民課 ☎内線2395、武蔵野年金事務所 ☎0422-56-1411



**私立幼稚園などの補助金申請を受付中**

市に住民登録があるお子さんの保護者で、私立幼稚園など(保育園、認可外幼児施設を除く)に入園料・保育料を納入している方

◆入園料補助金 1人につき38,000円

◆保育料補助金 月額4,700円～10,900円(所得により異なります)

④各園が指定する方法で所定の用紙を提出。用紙は子育て支援課(市役所4階42番窓口)、市政窓口でも配布

☎同課 ☎内線2755

※一定所得以下の世帯の保護者のみ「就園奨励費補助金」も同時に申請できます。

**「一日プレイパーク」を開催します**

☎6月16日(日)午前10時～午後3時(雨天中止)

所北野遊び場広場(北野4-10)

④当日会場へ

☎同課 ☎内線2835

※プレイパーク運営委員やサポーターも募集中。くわしくはお問い合わせください。

**すくすくひろばの催し**

◆フリーマーケット

☎6月23日(日)午前10時～正午(雨天決行)

④当日会場へ(出店者募集は終了)

◆七夕飾り制作

☎7月3日(水)午前10時～11時15分、午後2時～3時

④当日会場へ(先着制。さがが無くなり次第終了)

◆「ひいふうみ」の会とわらべうた

④3歳までのお子さんと保護者

☎7月8日(月)午前11時～11時30分

④当日会場へ

◆ベビーヨガ

☎7月10日(水)午前10時30分～11時30分

④初めて受講する3～8カ月のお子さん

と保護者

所井の頭コミュニティセンター

物バスタオル

☎同課 ☎6月26日(水)午前10時から直接または電話で同ひろば ☎0422-45-7710へ

◆年齢別あそびまじよ

④①平成23年4月2日～23年7月31日生まれのお子さん、②22年4月2日～23年4月1日生まれのお子さん、各10組

☎①うさぎぐみ「手先を使ってあそぼう」=7月11日、②ぞうぐみ「つくってあそぼう」=7月18日、いずれも木曜日午前10時15分～11時15分、午前11時30分～午後0時30分

☎同課 ①6月27日、②7月4日の木曜日午前10時から直接または電話で同ひろば ☎0422-45-7710へ(先着制)

**東児童館の催し**

◆ベビーマッサージ

④2～5カ月のお子さんと母親15組

☎6月25日(火)午後1時30分～3時

¥100円

物バスタオル、タオル、おむつ交換シート

☎6月18日(火)午前9時から直接または電話で同館 ☎0422-44-2150へ(先着制)

◆チャリティーフリーマーケット

☎同館母親クラブ わっしょい

☎7月5日(金)午前10時～正午(雨天決行)

④当日会場へ

☎同館 ☎0422-44-2150

**あかちゃんであえとしょかん**

「ここにこ」

☎6月26日(水)午前10時～11時30分

所すくすくひろば

④当日会場へ

☎三鷹図書館(本館) ☎0422-43-9151

**おやこでよってチョコっとあつぷる一む(7月前半)**

☎NPO法人みたか市民協働ネットワーク

④①ハイハイ前のお子さんと母親9組、②首据わり～1歳6カ月のお子さんと母親8組、③0～3歳のお子さんと親、妊婦8組、④1・2歳のお子さんと親10組、⑤首据わり～2歳のお子さんと母親7組

☎①ヨガママで骨盤調整=1日(月)、②ママ護身術エクササイズ=4日(木)、③産前・産後の骨盤ケア=8日(月)、④ママと英語であそぼ=11日(木)、⑤親子で楽しむ「ベビードダンス」=13日(土)、いずれも午前10時30分～正午

所市民協働センター

¥①②⑤1,500円、③④2,000円

※②防犯ホイッスル付き、③さらし付き、④絵本代含む。

物①タオル、敷物、⑤抱っこひも、体温計

☎6月17日(月)から必要事項(11面参照)・お子さんの年齢と名前(ふりがな)を同センター ☎0422-46-0048・☎0422-46-0148・☎kyoudou@collabo-mitaka.jpへ

**家庭教育学級**

講師は①立教女学院短期大学講師の三好良子さん、②国際基督教大学保健体育科講師の高橋伸さん。

☎市教育委員会、①四小、同小PTA、②三小、同小PTA

☎①「子育てEnjoyのすすめ」=7月10日(水)午前10時～正午、②「遊び力!一遊びが子どもを育てる」=7月12日(金)午前10時30分～正午

所①四小、②三小

物室内履き、下足入れ

☎同課生涯学習課 ☎内線3316へ

**あそびとおしゃべりの会(7月)**

④0～3歳のお子さんと保護者

☎所牟礼コミュニティセンター=10日、井口コミュニティセンター=10・24日、新川中原コミュニティセンター=17・24日、大沢コミュニティセンター=17・24日、井の頭コミュニティセンター=24日、いずれも水曜日午前10時30分～正午

④当日会場へ

☎すくすくひろば ☎0422-45-7710

**先天性風しん症候群対策予防接種費用助成の助成金額が変わりました**

☎総合保健センター ☎0422-46-3254

市では、先天性風しん症候群の発生を予防するため、風しん予防接種の費用助成を実施しています。6月1日より、市民のみなさんのより一層の費用負担軽減のため、助成金額を1,000円増額(4,572円から5,572円に)しました。これにより自己負担金(助成後の金額)は、麻しん・風しん混合ワクチンの場合は6,000円から5,000円に、風しん単抗原ワクチンの場合は2,545円から1,545円になります。

なお、制度開始の4月15日から5月31日までに費用助成制度を利用して接種を済ませた方には、市より差額の1,000円を還付します(後日案内を送付(7月ごろを予定))。

④19歳以上の市民で、以下のいずれかに該当する方

①妊娠を予定または希望している女性(妊娠中の方は接種できません)

②妊娠している女性の夫(夫から妊娠中の女性への感染予防のため)

※今まで風しんにかかったことがなく、風しんの予防接種が未接種の方に限ります。

☎①平成26年3月31日(月)まで、②25年9月30日(月)まで

☎電話で総合保健センター ☎0422-46-3254へ。後日送付される予診票を持参し、市内協力医療機関で自己負担金を支払い接種を受けてください

※支払った費用を払い戻す制度はありません(助成金額の変更に伴う還付を除く)。

**マダニによる感染症**

マダニがもつ新種のウイルスが引き起す「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」の感染者が日本で相次いで見つかり、死亡者も多数出ているため話題となつています。今回はマダニが媒介して起こる代表的な感染症についてお話しします。

SFTSは2011年に確認された新しい感染症で、2009年ごろより感染者の報告が相次ぎ、原因ウイルスが特定されました。日本で発見されたウイルスは中国のウイルスとは遺伝子の一部が異なるため、日本には以前からSFTSの病原体が存在していたと考えられます。

SFTSウイルスは野山に生息するマダニが持つていて、かまれると6日から2週間くらいたつてから、発熱や下痢、嘔吐といった風邪のような症状が出て血小板も減少し、死亡する場合もあります。マダニによる感染症は、ほかにライム病と日本

紅斑(こうはん)熱があります。ライム病は刺咬(しこう)部位を中心にリング状に拡大する赤い発疹と風邪のような症状が出ます。数カ月から数年先の慢性期になると、関節炎や脳脊髄炎を起こします。日本紅斑熱はかまれて数日たつてから発熱と赤い発疹が出て、重要臓器が侵されると死に至ることもあります。

マダニは2～8mmの大型で首や脇の下などの柔らかい部分にかみつき、十分に吸血するまで数日から2週間程度体から離れません。無理に取ろうとすると、口を残して胴体がちぎれてしまったり、病原体を拡散させてしまうかもしれません。皮膚科で切開するか虫体をつけたまま皮膚を切除してもらう必要があります。感染を予防するためには、マダニにかまれないようにすることが大切です。野山に出掛ける時には、長袖長ズボンで帽子も着用し、首にはタオルなどを巻き、肌の露出を少なくすることが必要です。

☎三鷹市医師会 ☎0422-47-2155